

平成31年度
島根県立大学 総合政策学部
一般入試(前期日程)個別学力検査

試験問題(日本史)

【試験時間 90分】

注意事項

1. 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題は1ページから9ページまであります。開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は、直ちに申し出てください。
3. 解答用紙は3枚あり、問題冊子とは別になっています。また、解答は縦書きで記入してください。
4. 受験番号、氏名は3枚の解答用紙の所定の欄すべてに記入してください。
5. 解答中の句読点やカッコも1文字分に数えます。
6. 解答中に数字を記す場合には漢数字を用い、1桁で1マスを埋めてください。
例

二	〇	一	九	年
---	---	---	---	---
7. 解答中、人物名を答える場合は、特に指示のない限り、姓・名ともに記入してください。姓のみの場合は減点対象となります。
8. 問題冊子の余白は、下書きに利用してもかまいません。
9. 試験時間中の退出はできません。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

第1問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

江戸時代の社会では、人々は、武士、百姓、商人、職人といったそれぞれの職能に基づく身分によって区分された。切捨御免、苗字や（ 1 ）の特権をもつ (A) 武士が支配身分の中心を担う一方、社会の大半を占める百姓、商人、職人が被支配身分を形成した。武士は都市で生活し、その生活を支えるために商人や職人も都市に集住していたが、百姓は農村や漁村に住み、身分に応じて居住地も分けられた。

江戸時代では、村を単位とし、村全体の責任で年貢・諸役を引き受ける（ 2 ）のもとで自治が認められ、(B) 村方三役を中心とする本百姓によって村の運営が行われた。村は、年貢徴収や法令伝達など、幕府や藩の支配体制の末端を担うだけでなく、肥料や薪炭として用いるための草や木を採取する（ 3 ）の利用、用水や山野の管理、道の整備などの仕事を共同で担った。村の運営経費は（ 4 ）と呼ばれ、村民が共同で負担しあった。個人の行動は村の共同生活によって束縛されており、村掟や村の慣習に背いた場合には厳しい制裁が加えられた。

検地帳に登録された田畑や屋敷を所有し、村政に参加する本百姓には、年貢や諸役が課せられた。それには、田畑と屋敷地を基準にかけられる（ 5 ）、山野河海の利用や農業以外の副業などにかかる（ 6 ）、一国単位で河川や道路の工事に徴発される（ 7 ）、宿駅に人馬が不足した際、街道周辺の村に人馬を出させる（ 8 ）、付加税である高掛物などがあつた。江戸時代の初期、これらは百姓にとって大きな負担になったが、幕府は年貢収入を確実にするため、農民対策も講じた。1643年には富農への土地集中と本百姓の没落を防ぐために（ 9 ）を出し、さらに1673年には分割相続による田畑の細分化を防ぐために（ 10 ）を出した。

江戸時代には、(C) 全国各地に中世とは比較にならないほど多数の都市が生まれ、城下町がその中心となった。城下町は、将軍や大名の屋敷が含まれる城郭を核とし、武家地・寺社地・町人地など、身分ごとに居住する地域が定められた。町人地では町を基本単位とした自治が認められ、町内に屋敷をもつ家持の町人によって町政が運営された。町には田や畑がなく、町人は村のような年貢は免除されていたが、それに代わる役が課せられた。ほかにも町には、宅地の一部や全体を借り自ら家屋を建てて住む（ 11 ）など、多様な階層の人びとが居住していた。17世紀後半になると、江戸・大坂・京都の三都は、当時の世界でも有数の人口をもつ大都市となり、全国的な流通の中心地として発展するとともに、(D) 江戸時代初期の豪商に代わって問屋が全国の商品流通を支配するようになった。

問 1. 文章中の空欄（ 1 ）～（ 11 ）に入る最も適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 2. 下線部 (A) について、江戸時代の武士の社会では、家を通じてどのように身分を継承したか。家における家長、長子（長男）、長子以外、女性のそれぞれの地位に言及しながら 120 字以内で説明しなさい。

問 3. 下線部 (B) について、村方三役とは何を指すか。それぞれの名称をすべて答えなさい。

問 4. 下線部 (C) について、城下町には、武士と商工業者が集住するようになったが、その理由は何か。次の語群にある語句を用いて、60 字以内で説明しなさい。

語群： 兵農分離 / 地子

問 5. 下線部 (D) について、以下の小問 1～2 に答えなさい。

【小問 1】 京都の豪商で、17 世紀初頭に富士川や高瀬川などの水路開発を行った人物名を答えなさい。

【小問 2】 海運が活発になると、海損の共同保障や、江戸・大坂間の流通の独占を目指して、多様な職種からなる問屋仲間の連合組織が結成された。1694 年に江戸で成立した荷受問屋の仲間を何と呼ぶか。また、それに対応して同じころ大坂で成立した荷積問屋の仲間を何と呼ぶか。それぞれの名称を答えなさい。

(問題は次のページに続きます)

第2問 次の二つの文章を読み、あとの設問に答えなさい。

I.

著作権保護のため、現在ホームページで問題文は公開できません。

出典：丸山眞男「自由民権運動史」『丸山眞男集 第三巻』（岩波書店、1995年）226-227頁。
なお、出題にあたり一部表記と誤記をあらためたほか、〔 〕内に語彙を補足している。

Ⅱ.

著作権保護のため、現在ホームページで問題文は公開できません。

出典：京極純一『日本の政治』（東京大学出版会、1983年）33-34頁。

なお、出題にあたり一部表記と誤記をあらためたほか、〔 〕内に語彙を補足している。

問1. 文章中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）に入る最も適切な語句を解答欄に書きなさい。

なお、（ 3 ）、（ 5 ）については人物名を記載すること。

問2. 下線部（A）について、憲法や議会開設に関する次の記述のうち間違っている選択肢をひとつ選び、番号で答えなさい。

- ① すでに幕末の段階において、議会思想の萌芽とも呼ぶべき、衆議によって政治をおこなおうとする公議政体論が有力に主張されていた。
- ② ペリー来航の際、老中阿部正弘は、その対処に窮し、朝廷に事をはかるとともに、諸大名・幕臣に対策を諮問し、公議世論の政治を試みた。
- ③ 明治政府は、天皇親政による中央集権化を進め、公議世論の政治には配慮を示さなかった。事実、五箇条の誓文の中には公議世論の考えは取り入れられていない。
- ④ 1881年10月、大隈派が政府から追放される、いわゆる「明治十四年の政変」が発生したが、これを契機に伊藤博文らは憲法制定の主導権を握ることとなる。
- ⑤ 府県会は1878年に公布された府県会規則にもとづき、翌年の1879年より開設された。府県会はしばしば自由民権運動の拠点となった。

問3. 下線部 (B) について、軍部大臣現役武官制の復活は、なぜ軍部に内閣の命運を左右するほどの力を与えたといえるのか。当該制度の内容、復活の経緯、ならびに当該制度の復活が内閣制度の運用に与えた影響に触れつつ200字以内で説明しなさい。

問4. 下線部 (C) について、第二次世界大戦と戦後にかかわる出来事に関する以下の小問1～3の記述のうち間違っている選択肢をひとつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

【小問1】

- ① 太平洋戦争は、当初は日本側に有利に展開したものの、やがて1942年のミッドウェー海戦で海軍が惨敗するなど、戦局は大きく転換していった。
- ② ヨーロッパにおいても、1943年9月にドイツのヒトラー政権が倒れ、これを契機に枢軸国側の戦況は不利に傾き、1945年5月にイタリアのムッソリーニ政権は降伏するに至った。
- ③ 1945年2月には、ローズヴェルト、チャーチル、スターリンによるヤルタ会談が開かれ、連合国によるドイツ降伏後の処理と、ソ連の対日参戦と千島・南樺太領有などが決定された。
- ④ 1945年4月には、沖縄本島にアメリカ軍が上陸した。激しい戦闘の末、6月にはアメリカ軍の占領するところとなった。
- ⑤ 1945年8月には、日本が和平仲介者として期待していたソ連が、日ソ中立条約を破棄して、対日宣戦を通告し、対日参戦した。

【小問2】

- ① 戦後改革が進められる一方で、プレスコードが定められ、連合軍に対する批判的言論はきびしく取り締まられた。
- ② 1945年にはポツダム勅令が出され、これにより、日本本土においても直接軍政を実

施する法令上の根拠が整備された。

- ③ 1945年10月4日には、GHQにより人権指令が出された。これは治安維持法の廃止、政治犯・思想犯の釈放、特高警察の解体などを内実とするものであったが、東久邇宮内閣はこれを実行することができず、内閣総辞職に至った。
- ④ 1945年12月、GHQは神社神道に対する支援・監督を禁じた神道指令を出し、国家神道を解体させる政策を実行した。
- ⑤ 1946年1月1日には、昭和天皇により人間宣言が出され、天皇の神格性が天皇自身により否定されることとなった。

【小問3】

- ① 戦後まもなく相次いで政党が結成・復活した。1945年10月には徳田球一らにより日本共産党が再建された。
- ② 1945年11月、旧無産勢力諸派を糾合する形で、日本社会党が結成された。その後分裂するも、1955年に統一し、いわゆる55年体制の一翼を担うこととなる。
- ③ 1945年11月、旧立憲政友会系を中心に日本自由党が結成された。総裁は鳩山一郎。
- ④ 1945年11月、旧立憲民政党系と旧立憲政友会中島派を中心として日本進歩党が結成された。総裁は芦田均。
- ⑤ 1945年12月、船田中らにより協同組合主義を掲げる日本協同党が結成された。

(問題は次のページに続きます)

第3問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

第二次世界大戦後、日本経済は生産力の低下に伴う物資の不足が深刻であった。また、この時期は失業も深刻な問題となっていた。これは、軍需工場の閉鎖に伴う失業に加えて、軍の動員解除による（ 1 ）が労働者人口を増やしたためでもある。加えて、海外にいた一般居留民による日本国内への（ 2 ）も人口を増加させた要因の1つである。当時の日本は、凶作や米の配給不足による食料難にも直面した。このため、食料の調達を目的として都市の住民が農村に出かける（ 3 ）が行われた。また、公定価格や配給制度などを無視して商業取引を行う露店形式の（ 4 ）も公然と行われた。

一方、GHQの下では経済の民主化改革が行われた。まず第一に、寄生地主制を解体し、自作農を創出することを目的とした（ 5 ）が行われた。これにより、全農地の約半分を占めていた小作地が1割程度にまで減少し、かわって自作農が大きく増加した。当然のことながら、これにより地主の社会的な権威や影響力は低下した。第二に、（A）GHQによる財閥の解体も進められた。さらに、1947年には、市場の独占を防ぐことを目的とする法律である（ 6 ）と、経済力が過剰に集中しているとみなされた巨大独占企業を分割するための法律である（ 7 ）が制定された。

1946年12月、第1次（ 8 ）内閣は、石炭や鉄鋼などの重要部門に資材や資金を集中させる（ 9 ）を閣議決定し、生産力の拡大を目指した。しかし、経済が混乱し、国民生活が危機的な状況の中で、労働運動が活発化した。1947年2月1日、（ 8 ）内閣を打倒することを目的として、官公庁労働者を中心に（ 10 ）が計画されたが、結局はGHQの命令により中止を余儀なくされた。

こうした中、米ソによる冷戦構造が次第に鮮明になり、これに対応すべく、アメリカは西欧諸国経済の復興援助計画として（ 11 ）を発表した。この目的は、共産主義勢力であるソ連に対抗するための防波堤として西欧諸国を復興させることであった。同様に、アメリカは西側陣営の一角として日本を重視するようになり、そのための経済復興に関わる施策を積極的に展開するようになっていった。

1948年、GHQは（ 12 ）を指令し、（B）翌年にはこの施策の実施のために銀行家のドッジが来日した（ドッジ・ライン）。1949年には、（ 13 ）を団長とする税制使節団が来日し、（C）税制の改革にも着手した。これらの一連の施策によりインフレは終息したが、その一方で景気の後退が鮮明となり、中小企業の倒産が相次いだ。

このような不況を打開したのは、1950年に勃発した朝鮮戦争である。アメリカを中心とする国連軍の後方基地と化した日本では、軍需物資の特需が発生し、このことが日本経済の景気回復につながったのである。一方、戦後から続いた食料難は、（ 5 ）によって解消に向かった。農業の生産、とりわけ米の生産量は飛躍的に拡大し、（D）1955年ごろには、多くの国民が食べる心配をしなくて済むようになったのである。

問1. 文章中の空欄（ 1 ）～（ 13 ）に入る最も適切な語句を解答欄に書きなさい。なお、空欄（ 8 ）（ 13 ）については人物名を答えること。ただし、空欄（ 13 ）については姓のみでよい。

問2. 下線部（A）に関する記述として正しいものを、次の文章（ア）～（エ）からひとつ選び、記号で答えなさい。

- （ア）財閥が行っていた傘下の企業への融資を回収させ、公正取引委員会がそれを管理することで、債権債務関係を通じた財閥による企業支配を一掃しようとした。
- （イ）財閥が行っていた傘下の企業への融資を回収させ、日本銀行からの融資に切り替えることで、債権債務関係を通じた財閥による企業支配を一掃しようとした。
- （ウ）財閥が所有する傘下の企業の株式を持株会社整理委員会に譲渡させ、それを一般に売却することで、財閥による企業支配を一掃しようとした。
- （エ）財閥が所有する傘下の企業の株式を持株会社整理委員会に譲渡させ、国有企業に転換することで、財閥による企業支配を一掃しようとした。

問3. 下線部（B）に関する記述として正しいものを、次の文章（ア）～（エ）からひとつ選び、記号で答えなさい。

- （ア）国債の発行により財政支出を増やすことで、経済成長と所得の向上をはかった。さらに、単一の為替レートを導入することで、輸出の拡大をねらった。
- （イ）国債の発行により財政支出を増やすことで、経済成長と所得の向上をはかった。さらに、単一の為替レートを導入することで、バブル経済の膨張を抑え込んだ。
- （ウ）財政を均衡させることで支出を減らし、インフレの抑制をはかった。さらに、単一の為替レートを導入することで、輸出の拡大をねらった。
- （エ）財政を均衡させることで支出を減らし、インフレの抑制をはかった。さらに、単一の為替レートを導入することで、バブル経済の膨張を抑え込んだ。

問4. 下線部（C）についての説明として正しいものを、次の文章（ア）～（エ）からひとつ選び、記号で答えなさい。

- （ア）直接税を中心とし、さらに所得額が大きければ大きいほど税率が上がる仕組みを整えた。
- （イ）直接税を中心とし、さらに所得額が大きければ大きいほど税率が下がる仕組みを整えた。
- （ウ）間接税を中心とし、さらに所得額が大きければ大きいほど税率が上がる仕組み

を整えた。

(エ) 間接税を中心とし、さらに所得額が大きければ大きいほど税率が下がる仕組みを整えた。

問5. 下線部 (D) に関連して、これ以降、日本は高度経済成長期に突入することになるが、高度経済成長にはどのような特徴があったか、180字以内で説明しなさい。なお、以下の語群にある語句のうち4つを選び、それらを用いて解答しなさい。

語群：

池田勇人 / 産業構造の高度化 / エネルギー革命 / 日本的経営

/ 国民総生産 (GNP) / 貿易黒字

(問題は以上です。以下余白)